

2019年7月17日

大阪医科大学
医学部・看護学部学生の皆様

学校法人大阪医科薬科大学
理事長 植木 實
大阪医科大学
学長 大槻 勝紀

大阪医科大学と大阪薬科大学との大学統合計画について

拝啓 皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素から本学
に対しまして格別のご支援ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、大阪医科大学は、来る2021年4月をもって大阪薬科大学と大学統合し、
大阪医科薬科大学となる計画を進めております。大学統合計画の概要は以下の
とおりです。

1. 大学の名称

大阪医科薬科大学（仮称）

英語表記：Osaka Medical and Pharmaceutical University（略称：OMPU）

2. 大学統合の目的

2016年4月に学校法人大阪医科大学と学校法人大阪薬科大学が法人合併
し、大阪医科大学、大阪薬科大学及び高槻中学校・高等学校を設置する学校
法人大阪医科薬科大学が誕生しました。この法人合併の目的は、「我が国の人
口構造と社会情勢の変化を見据え、次世代を担う良質の医療人の養成、並び
に医学、薬学および看護学が連携・融和する先進的医療体制の構築・提供を

目指し、特色ある学際的教育・研究と新たなチーム医療教育を推進するとともに、魅力ある学校作りを行い、もって学校法人の運営と経営の基盤を強化する」ことであり、その効果をより高めるためには将来、両大学の統合が必須であるとの認識のもとに実現させたものです。

両大学は、それぞれが歴史と伝統のある私立大学であり、これまで優秀な人材の育成と研究成果の還元を通じて社会に貢献してきました。しかしながら、18歳人口は1992年の約205万人をピークに2009年には約121万人まで減少し、ここ数年は横ばいで推移しましたが、2018年以降再び減少し、2024年には約106万人まで減少すると予測されています。こうした人口構造の変化は国公立を問わず、大学の置かれている環境をより厳しくするものです。いずれ大学淘汰の時代の到来が予想される中、本法人は両大学を「時代を先取りした我が国有数の医療系総合大学」に発展させる必要があるとして、このたび統合することとしました。

両大学の統合に伴い人的資源と物的資源がより効果的に活用され、前述した法人合併の目的を、より確実に達成することができると考えます。

なお、大学統合後も医学部、看護学部の教員組織、カリキュラム並びに学生支援体制などを維持し在學生に一切の不利益が生じないよう万全を期してまいります。

以上の理由により、両大学の統合を推進してまいりますので今後ともご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具